

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日：2023年1月10日

尚綱学院大学子ども発達支援センター主催 公開講座 「通常学級における自閉症スペクトラム症の特性を 有する児童に対する支援」開催のお知らせ

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本学の子ども発達支援センターで、2023年1月21日にオンライン公開講座を開催することとなりました。講演では自閉症スペクトラム症（ASD）の特性を有する児童への指導や配慮の方法について具体例とともに紹介し、支援のあり方について考えていきます。また実践報告として、本学子ども発達支援センターが行っている学習支援の現状についてお伝えいたします。

基調講演には、各界の著名な方をお呼びしており、聞きごたえ十分なプログラムとなっております。

本講演は塩竈市教育委員会のご協力をいただき、多くの現場の先生にご参加いただく予定で、準備をしております。またこれから教員を目指す大学生の方にも実り多い内容となっております。ぜひ広く周知をし、多くの方にご参加いただければと存じます。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■2022年度公開講座「通常学級における自閉症スペクトラム症の特性を有する児童に対する支援」

日時：2023年1月21日（土）10:00～11:40

講演：藤野 博 氏（東京学芸大学教職大学院）

会場：オンライン開催（ZOOMを使用したリアルタイム配信）

参加費：無料（要申込）

公開講座の詳細は、尚綱学院大学ホームページよりご覧下さい。

<https://www.shokei.jp/picup/detail.php?p=394>

※取材をご希望の場合は、事前連絡が必要となります。

詳細は教育研究支援課までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

尚綱学院大学 教育研究支援課

担当：清野

電話：022-381-3501

メール：ksien@shokei.ac.jp

通常学級における 自閉症スペクトラム症の特性を有する児童に対する支援

自閉スペクトラム症(ASD)の特性を有する子どもは、認知やコミュニケーションのスタイルが定型発達の子どもと比べてユニークです。そのため一人ひとりに配慮した環境調整が大切です。本講演ではASDの児童の認知とコミュニケーションの特徴について解説し、指導や配慮の方法について具体例とともに紹介します。

彼らのもつ「強さ」を活かした支援のあり方について考えたいと思います。



<プログラム>

- **開会**
- **挨拶** 塩竈市教育委員会教育長 吉木 修
- **講演** 「自閉症スペクトラム症児に対する
教室内での支援」
東京学芸大学教職大学院 藤野 博
- **報告** 「支援の実際と課題」
尚綱学院大学 小池 敏英
塩竈市立小・中学校 教諭2名
- **講評** 藤野 博
- **挨拶** 尚綱学院大学 学長
同総合人間科学研究機構 機構長 鈴木 道子

講師

東京学芸大学教職大学院
藤野博 氏

日時

2023年1月21日 **土**
10:00~11:40

会場

オンライン開催 (ZOOM)

受講料

無料

参加申し込み

下記アドレスまたはQRコードより申込フォームに進み、申し込みください。
開催日が近づきましたら、ZOOMミーティングURL・ID・パスコードをお送り致します。

<https://forms.gle/VRukyPWrMmE3Pk4N9>



尚綱SDGs Action

尚綱学院大学は、東北を「持続可能な社会」として次世代に引き継いでいくためSDGsを推進しています。

※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」のことです。
17のゴール・169のターゲットから構成されています。



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

講師プロフィール



- 氏名
藤野 博 (ふじの ひろし)
- 所属
東京学芸大学教職大学院 (専門：特別支援教育)

■略歴

東北大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。東北大学より博士 (教育学)。
川崎医療福祉大学専任講師、東京学芸大学専任講師、同大学助教授・准教授を経て、現職。言語聴覚士。公認心理師。臨床発達心理士スーパーバイザー。特別支援教育士スーパーバイザー。

■主な研究・活動対象

自閉スペクトラム症を主とする発達障害の子どもの社会的認知とコミュニケーションの発達、アセスメントおよび支援方法の研究。余暇活動を通じたコミュニケーション支援。

■主な著作

- 『うまくいなくてもへこたれない 子どもの「立ち直り力」が身につく本』PHP 研究所
- 『言語コミュニケーションの多様性』くろしお出版
- 『特別支援教育のための障害理解：未来に開かれた教育へ』金子書房
- 『話す・聞く・つながる コミュニケーション上手になろう!』(全4巻)、旬報社
- 『家庭と保育園・幼稚園で知っておきたい 吃音・チック・トゥレット症候群』ミネルヴァ書房
- 『ちょっとふしぎ 吃音・チック・トゥレット症候群のおともだち』ミネルヴァ書房
- 『発達障害の子の「会話力」を楽しく育てる本』講談社

尚絅学院大学 子ども発達支援センター

尚絅学院大学総合人間科学研究機構・子ども発達支援センターは、様々な困難に直面している子どもや家族への支援に関する理論と方法について研究を行うと共に、実際の相談・支援活動を行うことで地域に研究成果を還元することを目的に、2005年に立ち上がりました。

これまで毎年、研究成果に基づいて講座や講演会を実施してまいりましたが、より一層の研究成果の還元と直接的な支援の実現を目指し、今年度より小・中学校や支援学校への ICT を活用したリモート支援をセンターの役目として位置づけました。

「誰一人取り残さない世の中」の実現を目指し、尚絅学院大学子ども発達支援センターは新たな体制の下、その第一歩を踏み出しました。

【尚絅学院大学子ども発達支援センターへのお問合せ・支援依頼・相談】

尚絅学院大学 教育研究支援課 (担当:清野)

Tel : 022-381-3501 E-Mail : ksien@shokei.ac.jp